

若年者におけるライフスタイルが生活習慣病の危険因子に 及ぼす影響に関する観察研究

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここでご説明するのは、妙寺中学校におけるヘルスプロモーション事業の一環で行われた健康調査の資料を使用し行う疫学研究です。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て実施します。すでに存在する資料を使用して行う研究ですので、対象となられた皆さまに新たな検査や調査、費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の資料が使用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

若年者におけるライフスタイルが生活習慣病の危険因子に及ぼす影響に関する観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

3. 研究の目的

近年、わが国では、がんとともに心臓病や脳卒中などの生活習慣病が増加して死因の中心になっています。心臓病や脳卒中は、肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病などを原因とする動脈硬化によって引き起こされるもので、食生活の偏り、睡眠の質の低下、運動不足などの生活習慣の乱れが影響を及ぼします。和歌山県立医科大学保健看護学部と NPO 法人ヘルスプロモーション研究センターでは、妙寺中学校の生徒の皆さまを対象にヘルスプロモーション事業を実施してきました。今回の研究は、その一環として行われた健康調査における各種検査や質問紙調査の資料を詳細に分析することで、ライフスタイルが生活習慣病の危険因子に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 研究の対象となる方

妙寺中学校に 2017 年度から 2020 年度に在籍し、健康調査に参加された方のデータが分析対象となります。

(2) 研究期間

2021 年 4 月（倫理審査委員会承認後）から 2026 年 4 月まで（5 年間）

※ データの分析やその成果発表を行うための研究全体の期間となります。

(3) 利用させていただく情報

妙寺中学校で行われた健康調査における各種検査（身体計測、循環機能検査、動脈硬化検査、骨密度検査、整形外科検査、血液・尿検査）およびアンケート調査（食物摂取状況、塩分摂取量、睡眠、身体活動量、自覚症状）の資料を使用させていただきます。

(4) 研究方法

健康調査の資料を使用して、食生活、睡眠、身体活動量などのライフスタイルと肥満、血圧高値、高血糖、脂質異常などの危険因子との関連を統計学的に解析することで、生活習慣病のリスクに及ぼす要因について検討します。

5. 個人情報の取り扱い

この研究で使用するデータからは個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果を学会や学術雑誌等で発表することがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の資料が使用されることを望まない場合

このような疫学研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の資料が使用されることを望まない方にはこれを拒否する権利があります。その場合、2021年6月30日までに下記の問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

なお、研究協力を拒否されたとしても不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

分担研究者 和歌山県立医科大学 名誉教授・NPO 法人ヘルスプロモーション研究センター
理事長 有田幹雄

” 東京医療保健大学和歌山看護学部 教授 内海みよ子

” 和歌山県立医科大学医学部整形外科学教室 准教授 橋爪 洋

” 和歌山県立医科大学保健看護学部 助教 寒川友起子

8. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学保健看護学部 宮井信行

〒641-0011 和歌山市三葛 580

TEL : 073-440-6700 FAX : 073-440-6720

E-mail : miyain@wakayama-med.ac.jp